

はな つづき  
花の都筑

加羅古呂庵 一泉

2021.4.20 作曲

1尺8寸管

尺八Ⅰ

口 ピ

1尺8寸管

尺八Ⅱ

口 ピ

花雲調子

箏Ⅰ

三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

花雲調子

箏Ⅱ

三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

十七絃

二 三 五 七 九 1 3 5 7

運指、奏法については、適宜工夫していただいでけっこうです。

## はな つづき 花の都筑

横浜市都筑区は、遊歩道が張りめぐらされており、道端には四季折々に花が咲いています。住宅の庭や商店街にも色とりどりの花が植えられ、さながら「花の街」といえます。

新しく築かれた街とともに、自然のままに残された里山の木々も花を咲かせ、秋から冬にかけては木の葉の色も鮮やかに染まります。都筑の地は、人の暮らしと自然が調和した美しい街に発展してきました。

街そのものが花開く都筑をテーマに、あまり邦楽っぽくせず、覚えやすいメロディーで、十七絃でベースを刻み、BGMとして活用されることも想定して、全体として4分の4拍子の軽快な曲にしてみました。